

「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世生誕200年に贈る

ウィーン・シュトラウス・フェスティバル・オーケストラ

ニューイヤー・コンサート

Strauss Festival Orchester Wien

NEW YEAR CONCERT 2025

生誕200年

ベスト・オブ・ヨハン・シュトラウスⅡ

200. Geburtstag von Johann Strauss II

喜歌劇「こうもり」序曲 チャルダッシュ

ワルツ「美しく青きドナウ」 「皇帝円舞曲」
「春の声」

喜歌劇「ヴェネツィアの一夜」より「ゴンドラの歌」

喜歌劇「ウィーン気質」より二重唱 “どうしても許せないことは”

ポルカ・シュネル「観光列車」「狩り」

「トリッチ・トラッチ・ポルカ」

フランス風ポルカ「お気に召すまま」 ペルシア行進曲

フランス風ポルカ「クラブフェンの森にて」

(順不同)

ヴァリー・
ビュッヒラー
(指揮 & ヴァイオリン)

Willy Büchler (Conductor & Violin)

ローレン・
アーカート
(ソプラノ)

Lauren Ureghart (Soprano)
© Devon Cass

アレクサンドル・
ブシャ
(バリトン)

Alexandre Beuchât (Baritone)

2025.

1/9 (木) 14:00開演 サントリーホール
13:20開場(終演予定16:00) 2:00 p.m., Jan. 9(Thu.), 2025 at Suntory Hall

全席指定 ¥7,000 (税込)

※チケット料金には消費税が含まれております。※特別割引料金につきましては裏面をご覧ください。
※先行発売などで満席となった場合は、以降発売されない場合があります。

[お申込み] ジャパン・アーツぴあ 0570-00-1212 www.japanarts.co.jp

◎ サントリーホール チケットセンター 0570-55-0017 suntory.jp/HALL

◎ チケットぴあ t.pia.jp [Pコード:276-397] ◎ イープラス eplus.jp

◎ ローソンチケット l-tike.com [Lコード:33837]

9/8(日) 前売開始

ジャパン・アーツぴあオンラインチケット
8/31(土)10:00受付開始

主催: ジャパン・アーツ
後援: オーストリア大使館/オーストリア文化フォーラム東京

「オーストリア文化フォーラム」

austrian cultural forum

© 阪島隆 / 兵庫県立芸術文化センター

お帰りなさい! 最高のシュトラウス・オーケストラ!

ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラが、6年ぶりに東京に帰ってきます!

2019年までは毎年恒例だったこの楽団のニュー・イヤー・コンサートがコロナ禍によって突然途絶えた時、心の中にポッカリ穴の空いたような思いをされた方も多いでしょう。しかし「待った甲斐はある!」というものです。楽団は「ワルツ王」ヨハン・シュトラウス2世の生誕200年を迎える2025年新春、「オール・ヨハン2世」のプログラムを携えて、サントリー・ホールに帰ってきます。

とはいえ、6年もの空白があるのでこのオーケストラをご存知ない方に彼らの魅力の一端をご紹介しますと、まずシュトラウス・ファミリーを初めとするウィーン音楽の演奏に関して、他に並ぶ者のないスペシャリスト集団であること。次に、オーケストラを率いてシュトラウス一家伝統の弾き振り(ヴァイオリンを弾きながら指揮をする)と身振り会場を沸かせる千両役者、ヴィリー・ビュッヒラー氏の至芸。そしてビュッヒラー氏に劣らぬ芸達者揃いのオーケストラの面々。更に今回はソプラノの名花と魅力のバリトンに、美しい男女のバレエも加わって、一瞬目を離せない舞台となるでしょう。

ウィーンの香り満載の魅惑のコンサートを、心ゆくまでお楽しみ下さい。

音楽作家 ひのまどか



ヴィリー・ビュッヒラー
(指揮&ヴァイオリン)

ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ初の客演指揮者を20年務めた後、現在はベーター・グートと共に音楽監督の任を務める。ウィーンに生まれ、ウィーン音楽大学でヨゼフ・シーヴォに師事。20歳でオーストリアのフォーラー・ベルク州立音楽院の教授に就任。ウィーンに戻ると、ウィーン放送交響楽団のヴァイオリン副首席を務めると共に、音楽大学で教鞭をとった。1992年から、ウィーン交響楽団のメンバーで構成されるイオス弦楽四重奏団のリーダーとしてコンツェルトハウスで定期演奏会を行う。1995年にはウィーン交響楽団のコンサートマスターにも任命されている。ウィーン放送交響楽団の第1ヴァイオリンの首席奏者も務めている。ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラではヨハン・シュトラウス時代の伝統を受け継ぎ、ヴァイオリンを手に指揮をし、純粋なウィーン伝統の備えた演奏で、好評を博している。



ウィーン・シュトラウス・フェスティヴァル・オーケストラ

1978年イタリアでのシュトラウス・フェスティヴァルを機に設立されたオーケストラ。1999年のシュトラウス・イヤーにはウィーン市から「世界に対してウィーン市を代表するオーケストラ」として選ばれている。これを機に2000年1月1日より、ウィーン・コンツェルトハウスでのニュー・イヤー・コンサートに出演する栄誉を授かり、かつてない大成功を収めた。シュトラウス、レハール等のウィーン音楽には定評があり、美しい音色、ウィーンならではの魅力と喜びに満ちた演奏で聴衆を魅了している。ウィーン音楽の伝統を守り伝えていくという重要な役割を担っており、ヨーロッパでもトップのアンサンブルとして君臨する。



ローレン・アーカート
(ソプラノ)

アメリカ人のローレン・アーカートは2018年にヨーロッパへ移り、ウィーン・フォルクスオーパー史上最年少メンバーとして採用された2019/20シーズンから、同劇場のソリストとして活躍している。2022/23シーズンには、「ラ・チェレントラ」のクロリнда、「ラ・ボエム」のムゼッタ、「魔笛」のバミーナ、「こもり」のアデーレ、「フィガロの結婚」のスザンナ、「サウンド・オブ・ミュージック」のマリアなどにデビュー。彼女は、ニュルンベルク国立劇場で初演された「アンナ・ニコル」でシェリー役を演じ、ドイツ・デビューを飾った。ヨーロッパに移ってからは、新曲の歌唱を得意とし、さまざまな初演に参加している。



アレクサンドル・ブシャ
(バリトン)

スイスのバリトン、アレクサンドル・ブシャは2016年にルツェルン音楽院のバルバラ・ロッパー教授のもとで演奏修士号を取得した。2015/16シーズンには、ルツェルン劇場のアンサンブルメンバーとしてプリテン「アルバート・ヘリング」のゲッツ氏やソンドハイム「スウィーニー・トッド」のアンソニー・ホープ役を務めた。2016年9月より、ウィーン・フォルクスオーパーのアンサンブルメンバー。2022/2023シーズンには、ブッチェニ「ラ・ボエム」のマルチェッロ、モーツァルト「フィガロの結婚」のアルマヴィーヴァ伯爵、レハール「メリー・ウィドウ」のダニロ、そしてモーツァルト「魔笛」のハバゲーノ役を務める。



マリー・ブルイユ (バレエ)

パリ生まれ。パリ国立高等舞踊学校で学んだ後、ボルドー・オペラ座バレエ団に入団。2016年ウィーン国立バレエ団に入団。レパートリーは、ヌレエフ版「くるみ割り人形」、「ライモンダ」、「白鳥の湖」、バラシンの「ジュエルズ」、「シンフォニー・イン・C」、エレナー・チェルニシワの「ジェル」、ジョン・クランコの「オネーギン」など。



ベルナルド・リベイロ (バレエ)

リスボンの国立コンセルバトリー・ダンス・スクール(EDCN)でプロフェッショナル・ダンサー養成コースを修了。2012年にノーザンバレエスクールに入学し、2週間で2年生に進級。2014年7月7日にコースを修了した。

2025年その他の公演日程

- 1月10日(金) 豊田市コンサートホール (問)0565-35-8200
- 1月11日(土) 兵庫県立芸術文化センター KOBELCO大ホール (問)0798-68-0255
- 1月12日(日) ふくしん夢の音楽堂 大ホール (問)024-531-6221
- 1月13日(月・祝) ウェスタ川越 大ホール (問)049-249-3777

※川越公演:アレクサンドル・ブシャ(バリトン)に代わり、錦織健(テノール)が出演

(次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さい。)①やむを得ない事情により、出演者・曲目等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、チケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合もチケットの再発行はいたしません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。開演時間に遅れますと、長時間ご入場をお待ちいただく事になります。時間には余裕を持ってお越しください。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお、就学時以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全席指定席です。券面に記載された指定のお席でご鑑賞ください。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの販売は、トラブルの原因になりますので、お断りいたします。⑨他のお客様の迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合があります。

(特別割引チケットのお知らせ)

(ジャパン・アーツびあホールセンター及びジャパン・アーツびあオンラインチケットで受付)

- ★シニア割引(65歳以上):¥6,300でお求めいただけます。
- ★学生割引(社会人を除く公演当日25歳までの学生):¥3,500にてお求めいただけます。残席がある場合に限り、12月2日(月)10:00より受付を開始します。当日学生証を提示の上、ご入場ください。(学生証がない場合、一般価格との差額を頂戴します。)
- ★車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツびあホールセンターのみで受付)